

令和6年9月定例会「一般質問」報告

今年8月6日、かしま交流センターにて南相馬市議会会派、友和会・尚友会・公明党の有志11人と鹿島商工会青年部・農業団体A S K・鹿島中学校PTA・かしま保育園保護者会の12人による懇談会を開催し、鹿島区の現状と課題について主に以下の項目のご意見・ご要望を伺いました。

- ・鹿島駅舎と駅周辺について
- ・セデッテかしまの周辺開発について
- ・岩妻茂手線の今後について
- ・真野川親水サイクリングロードの利活用について
- ・スキット千倉の利活用について
- ・旧八沢小学校跡地の利用について
- ・上真野小学校、鹿島区内小中学校の今後の在り方について

問 平成27年の開業以来、年間100万人を超える来場者による、鹿島区をはじめ本市

「セデッテかしま」周辺開発事業について

答 可能であれば現駅舎を保存した上で利用状態を調査し、多くの方からご意見をいただき、駅周辺エリアの振興・利便性の確保・安心安全のための対策、また駅前ロータリー・駐車場の整備についても検討していく。

問 駅舎については開業以来126年に渡り鹿島区の顔として親しまれており、市としても耐震診断・改修計画があるようだが、駅前ロータリー・駐車場・街路灯等の他、子どもの居場所作りとして図書・自習室の整備を求める声があるが見解を伺う。

「J R 鹿島駅舎と駅周辺整備」について

答 意見・ご要望を踏まえ鹿島区について以下の3項目17回の質問・提案をしました。



南相馬市議会議員
(友和会)

大場 裕朗

令和6年9月定例会
一般質問動画



全域への経済波及効果について、また本市PRの在り方について見解を伺う。

答 現在、農業・漁業・商工業者等に計画策定検討委員会への参画をお願いしている。

ナショナルチェーン誘致、馬事文化のPR等、官民連携手法の導入可能性を含め検討していく。

「親水サイクリングロード」の整備・維持管理について

問 危険箇所への対応、草刈り等の維持管理、トイレ・ベンチ・イベント駐車場・防犯灯・距離表示板等の整備など多くの意見が寄せられているが、今後の整備計画について伺う。

答 草刈りは令和6年度から河川愛護など10団体においてお願いしている。危険箇所への注意喚起看板・路面標示の整備を進める。トイレ・ベンチ等の必要性についても調査検討する。

その他の質問

若者をはじめとした、人が集い賑わう南相馬について

。南相馬市のPRについて

。相馬野馬追開催期間の各行事のPRについて

。本市における夏祭りについて

。通年観光について

。泉・北泉周辺整備、利活用計画について



南相馬市議会議員
(友和会)

菊地 洋一

令和6年9月定例会
一般質問動画



懇談会では様々な意見が出されました。このことを踏まえ、私は岩妻茂手線と学校問題を議会において一般質問をしました。その中から岩妻茂手線について報告します。

「岩妻茂手線」について

問 岩妻茂手線の整備見送り方針決定は遅いのではないかとという声がある。市の見解を伺う。

答 合併当初、中期計画として平成21年度以降の着手を見込んだが、東日本大震災の復興・復興事業を優先的に進めた。約10年が経過し、事業化判断の調査を実施した。結果、概算事業費が61・5億円になることが判明した。平成19年度では概算事業費を14億円と試算し、当時の想定より大きな事業費がかかることから、令和5年度に事業着手を見送る方針を決定した。

問 海老街道踏切が朝夕の通勤通学で、一番混んでいる。踏切と道路を拡幅する必要性について見解を伺う。

答 海老街道踏切付近は、特に朝の時間帯に車両が集まり、混雑が発生している状況を市も確認している。

一方、鹿島区には、海老街道踏切以外にも道路に関する課題が多く存在している。これら問題解決に向けた対策を検討するため、今

年度、鹿島区市街地道路ネットワーク検討会を立ち上げた。検討会では、各分野の委員と意見交換を行い鹿島区市街地の道路に関する課題を明らかにし、その結果を今後の道路施策に反映させる考えである。

問 岩妻茂手線が着手できない場合、代替案があるのか伺う。

答 岩妻茂手線の陸橋がなく、問題ないとは思っていない。何とかしなければならぬ。ただ、課題路線がいろいろあり、その中で全部を行うことは不可能と考える。

その意味で、区民の中での優先順位、県道の管理者としての県の考え、踏切改修となるとJRの意見も必要である。その中でどの路線を優先的に対応していくか、その優先順位等をしっかりと固めて国・県、あるいはJRに臨みたい。その意味合いもあり検討会を立ち上げている。

問 進めるに当たり、鹿島区民の大宗を占めるコンセンサスが必要と考える。市の見解を伺う。

答 道路整備事業化に当たっては、地域住民のニーズを把握し、合意を得ながら進めることが重要だと認識している。検討会を踏まえ、区長会や地域協議会などを通して多くの人々の理解を得られるように進めて行く。



南相馬市議会議員
(公明党)

志賀 稔宗

令和6年9月定例会
一般質問動画



鹿島区の代表の皆さんとの懇談
会で出された意見を議会で取り上
げました。今後もしっかりと意見
を市政に反映できるように努力し
て参ります。

「スキット千倉」の 利活用について

問

スキット千倉は、「市民の健康増進、体力の維持向上を図り、もって市民の健全な心身の維持保全による健康長寿により、地域住民の交流と一体感の醸成に寄与する」ことを目指し、各世代や個々人のニーズに応じた、健康づくりや体力向上のためのメニューが実践できる環境及び多くの市民が気軽に利用できる施設として、令和3年度に鹿島区北千倉に整備された市の施設です。

利用する市民の皆さんからは大変好評をいただいております。ほぼ目いっぱい利用されております。高評価の背景は、21台のトレーニングマシンの性能と、指導員のアドバイスにより、体力向上効果が目に見えて実感できることにあります。本人の努力はもとより、いくつもの資格を有した専門知識・技術を身につけた指導員の指導力に負うところが極めて大きいと見えています。今後、更に効果を周知し事業の発展を図るべきと考えます。

答

一方、人気のある施設ゆえに混んでいて利用できないとのことご意見がありました。施設の利用状況と今後の取組みについて伺う。

スキット千倉は利用料金5%の利用率です。特定の機器においては、若干の待ち時間を要することもあります。スタッフの丁寧な声掛け、空いている機器への適切な誘導により利用者からの不満の声も聞かれずスムーズにご利用いただいております。

「千倉グラウンド」の 利活用について

問

千倉グラウンドは夜間照明が整備され、野球等ができる約1万7千㎡のグラウンドです。子ども野球クラブが遅くまで一生懸命練習する姿をよく見かけます。またグラウンドゴルフ等、市民に身近に親しまれている運動施設です。サブグラウンドの整備や、仮設トイレの改修、また近隣に子どもが遊べる空間があるとなお良いとの意見がありますが見解を伺う。

答

サブグラウンドの整備予定はありません。トイレは、近くのスキット千倉・千倉体育館・わんぱく広場の常設トイレを利用して欲しいと思います。今後改めて利用団体等の確認しながら新しいトイレの必要性について協議して参ります。

南相馬市9月定例会・議案第77号（令和5年度一般会計歳入歳出決算認定について）

本市における普通建設事業の執行状況及び今後の見込み（令和5年度決算）							（単位：億円）	
		新市建設計画 の総事業費 ①	実績	市全体に 占める割合 区／市全体	見込 (推計ベース) R6～R12	合計 ②	施行率 ②／①	市全体に 占める割合 区／市全体
			H17～R5					
小高区	普通建設事業 計		343.3	19%	120.7	464.0		20%
	うち通常事業	約 110 億円	116.5	18%	58.5	175.0	159%	19%
	合併特例債充当額		22.9	15%	15.0	37.9		16%
	うち震災関連事業		226.8	19%	82.1	308.9		22%
鹿島区	普通建設事業 計		391.9	21%	68.0	459.9		19%
	うち通常事業	約 110 億円	116.5	18%	58.5	175.0	159%	19%
	合併特例債充当額		26.5	17%	17.6	44.1		18%
	うち震災関連事業		275.4	23%	28.2	303.6		21%
原町区	普通建設事業 計		1,090.9	60%	345.3	1,436.2		61%
	うち通常事業	約 330 億円	404.4	64%	175.4	579.8	176%	62%
	合併特例債充当額		106.4	68%	50.2	156.6		66%
	うち震災関連事業		686.5	58%	131.3	817.8		57%
市全体	普通建設事業 計		1,826.1	100%	534.0	2,360.1		100%
	うち通常事業	約 550 億円	637.4	100%	292.4	929.8	169%	100%
	合併特例債充当額		155.8	100%	82.8	238.6		100%
	うち震災関連事業		1,188.7	100%	241.6	1,430.3		100%

南相馬市9月定例会・議案第89号（令和6年度一般会計補正予算について）

地域復興一般経費（鹿島区） 補正額 2,467 千円

「事業内容」 鹿島区の特色あるまちづくりを推進するため、地域復興事業を実施する。

「補正理由」 JR鹿島駅は、明治31年の開業から今年で126年を迎える。この間、東日本大震災をはじめ複数回の大規模地震被害を受けており、JR東日本では鉄道利用者の安全を確保するため、現在の駅舎を取り壊し、コンパクトな駅舎への建て替えを計画している。

一方、鹿島駅は鹿島区内で唯一の駅であり、地元住民の愛着も大きいことから、市による現駅舎の保存活用を含めた検討を行うにあたり、現駅舎の現状確認のための事前調査を行い、その結果を踏まえ、令和6年度中に市の整備方針を決定する予定であることから、必要な予算を計上するもの。

「主な経費」 委託料：鹿島駅駅舎改修事前調査業務委託（耐震診断、耐震改修計画の作成、石綿含有調査）

（仮称）鹿島多目的グラウンド整備事業 補正額 2,563 千円

「事業内容」 みちのく鹿島球場の更なる有効活用として、圃場整備事業に併せて、非農用地を確保したことから、ウォーミングアップ会場や駐車場用地の整備に加え、野球、ソフトボール、グラウンドゴルフ等、多目的に利用できるグラウンドを整備する。

「補正理由」 サブグラウンドの整備にあたり、施設利用者の利便性を図ることに加え、令和6年4月25日、5月23日に開催したスポーツ団体などの関係者による意見交換会においてトイレ設置に係る要望があったことから、トイレ建築にかかる設計費について、必要な予算を計上するもの。

「主な経費」 委託料：トイレ建築設計業務委託料